

しずおか

特集 第18回東海北陸ブロック 老健大会静岡

TOPIC 1

第33回全国介護老人保健施設大会 兵庫

TOPIC 2

第17回東海北陸ブロック老健大会 石川

- 令和4年度 事業報告
- 静岡県 会員施設一覧

- 部会報告
リハビリ部会／防災部会／看護・介護部会

ご挨拶

静岡県老人保健施設協会
会長

小出 幸夫



平素より会員の皆様には静岡県老人保健施設協会の運営に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。取り分け、去る5月25日、26日に開催されました「第18回東海・北陸ブロック老健大会 静岡」では静岡県県会施設から多数ご参加いただき、更に幹事施設からは実に44名のスタッフを積極的に派遣していただき感無量です。静岡県老人保健施設協会が運営する大会を成功させようという熱意が伝わってきました。有難いことです。この大会の参加者は現地参加488名、オンライン配信参加59施設（177名換算）、計665名に上り目標の600名をクリアしたと思っています。演題のテーマはCOVID-19に備えることなく、多岐に渡り様々な取り組みが紹介され、活発な質疑応答が行われ感銘を受けました。2019年に開催された愛知大会から、実に4年振りの集会形式（ナオンデマンド配信）の大会となりましたが、皆様方のお陰で成功裏に終わつたと勝手に思っています。

さて、この数年はCOVID-19のクラスター対策に追われた日々でしたが、この辺りで原点に戻り老健施設で求められる「ケア」について考えてみたいと思います。考えてみれば、「ケア」は人間の本質そのものです。「ケア」を必要とするのは、新生児、高齢者、障害者、病人等ですが、人間以外の動物は赤ちゃんの世話はしますが、仲間の助けを必要とする年老いた個体、障害を抱えた個体等を「ケア」することはありません。大阪大学の村上靖彦教授は人間を「独りでは生存することができない仲間を助ける動物」と定義することもできると主張しています。

話を高齢者に対する「ケア」に戻します。英語の「ケア」はACA (Advance Care Planning) で使用されているように、介護のみならず医療、リハビリ、栄養等すべてを包含します。小澤 勲氏は、その著書「ケアって何だろう」の中で「ケア」は「やさしくあること」「全

てを受容すること」と述べておられます。その一方で、「たしかに『受容』という言葉はケアの全てを言い表している。しかし、全てを言い表す言葉は何も言っていないのと同じである」と突き放しておられます。

「やさしさ」には2つの誤解があると私は思っています。1つは、「やさしさ」は「背が高い」とか「頭が良い」とかと同じく生まれつきの資質との考えです。確かに生まれつきの感性としかいえないような「やさしさ」を持った人が一定数いることは事実ですが、老健施設で働くスタッフ全員にそれを期待することはできません。それではどうしたら良いのでしょうか。小澤氏は「やさしさに至る知」と明察されています。即ち「やさしさ」は誰でも身につけることができる技術なのです。むしろ、これは単純に愛想笑いをして「ケア」をすることを意味しているのではありません。利用者一人ひとりについて熟知し、抱えている不自由さに対して適切に対応することの意味しています。アメリカの詩人であるJ・R・ローウェルは「世界の美しい感情を全て集めても、ただひとつのやさしい行為にはかなわない」と言っています。

2つ目の誤解は「やさしさ」は自己犠牲の上に成立するという考えです。しかし、そうではありません。他者にやさしくすることで、幸せホルモンであるオキシトシンが分泌され（1）ヒトへの親近感、信頼感が増し、（2）ストレスが消え、幸福感が得られることが最近の研究で明らかになっています。つまり、人間は他者に「やさしさ」を持つて接するように遺伝的にプログラムされているのだと私は思います。

以上のように本物の「やさしさ」は誰でも意識的に身につけることができ、しかも一生磨き続けることができる「技術」です。既に皆様は十分「やさしさ」と思っていますので、釈迦に説法ですが、「ケア」の現場で働く私どもは是非これを身につけ、磨き続けることが肝要だと思います。

静岡県健康福祉部福祉長寿局
福祉指導課長

小池 美也子



日頃、貴会及び貴会会員の皆様には、本県の高齢者保健福祉の推進に御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、長期にわたり日々感染対策を徹底していただくとともに、クラスター発生施設へのサービス種別を超えた応援職員の派遣など、多大な御協力を御尽力をいただきまして、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は今年5月8日から5類に移行しましたが、引き続き、入所者が新型コロナウイルスに罹患した場合の施設内療養の継続、入院した入所者の症状軽快後の早期受入れ、ワクチン接種等について御協力をお願いいたします。

皆様御承知のとおり、令和3年4月の報酬改定の際に、感染症対策の強化、業務継続に向けた取組の強化、高齢者虐待防止の推進等を図るため、指針の整備やBCPの策定、研修・訓練の実施等が義務付けられ、令和6年4月から本格的に適用されることとなります。こうした取組を未だ行っていない施設におかれましては、今年度中の対応をお願いいたします。

さて、県では今年度、第10次静岡県長寿社会保健福祉計画として、令和6年度から令和8年度までを計画期間とする、新たな「ふじのくに長寿社会安心プラン」の策定を進めております。高齢者人口がピークを迎える2042年を見据え、更なる高齢化や様々な社会環境の変化の中にあっても、すべての高齢者が必要なサービスを受けることができ、希望する場所で安心して生活することができる社会の実現を目指してまいります。

また、令和6年度は医療報酬と介護報酬の同時改定が行われることとなっております。介護老人保健施設につきましては、在宅復帰・在宅療養支援機能の充実や地域のリハビリテーションへの貢献など、地域包括システ

ムを支える重要な役割を果たすことが一層期待されるものと思われまます。

貴会及び貴会会員の皆様におかれましては、こうした期待に応え、高齢者の在宅生活を支える地域の拠点として、今後ますます御活躍いただきますようお願い申し上げます。



TOPIC 1

新たな時代をいきぬくために ～今、老健ができること～

第33回 全国介護老人保健施設大会

兵庫

食前酒効果で 生活の質を改善!

介護老人保健施設 徳洲苑
介護福祉士 森 優子

▼ねらい
生活の質の向上のため食前酒（ノンアルコール飲料）を導入した。実施して認められた効果について報告する。

▼要旨
当施設では食べる事の楽しみや満足感を得るため、食事時間の前に食前酒（ノンアルコール飲料）の提供を行った。食前酒には食欲を増進させたり、会話を弾ませる効果があるとされる。今回実施した取り組みによって得られた効果をまとめ、ここに報告する。

老健に入所されたALS患者の QOLへの取り組み 老健にできる生活の満足度向上を目指して

介護老人保健施設 みしゅくケアセンターわか葉
理学療法士 小館 莉緒

▼ねらい
老健に入所されたALS患者に対して、残りの人生が充実するように十分なケアを行うため。

▼要旨
老健に入所している関わり方に難渋したALS患者に対して、多職種にQOL向上についての取り組み方をインタビュートした。
患者本人にもインタビュートを行い、スタッフと患者間でのQOLに対するあり方の差を改善する取り組みを行った。その前後で主観的QOL評価を実施した。

会期
令和4年9月22日（金）～ 23日（金）

会場
神戸ポートピアホテル
神戸国際会議場

内容等
特別講演、基調講演、シンポジウム
演題（講演）発表、福祉・医療機器展示 他

訪問リハビリの位置づけ獲得に向けて PDCAサイクルの活用から得た 機能的変化について

介護老人保健施設 入野ケアセンター
理学療法士 伊藤 優斗

▼ねらい
介護老人保健施設での訪問リハビリをより機能させるため。

▼要旨
2018年に訪問リハビリを開設し、訪問リハビリの位置づけ獲得のため、常勤職員配置よりPDCAサイクルを用いた行動計画を開始した。
約1年4ヶ月の取り組みの結果、多職種からの訪問リハビリの認識を上げることができ、在宅への移行支援や在宅生活の継続支援に結び付けることができた。

家族の思いに寄り添い 施設から在宅での 看取りを支援する。

介護老人保健施設 芙蓉の丘
介護支援専門員 佐伯 久実

▼ねらい
新型コロナウイルスが感染拡大し、面会制限が余儀なくされる中、家族の思いに寄り添う看取りについて考える。

▼要旨
新型コロナウイルスが感染拡大となり、終末期ケアに入っても面会制限を余儀なくされる中、「母を自宅で看取りたい。でも仕事を抱えながらどこまでできるかわからないし、どうしたらいいのかもわからない。」と不安を抱える家族が出現。家族の思いに寄り添い、できる限り希望を叶えたい、と取り組んだ事例である。

より良い食事を提供 していくための取り組み

介護老人保健施設 みしゅくケアセンターわか葉
管理栄養士 山口 亜有美

▼ねらい
利用者様の生きがいとなるように、よりよい食事を提供していきたいと思ひ、取り組みを行った。

▼要旨
施設栄養士が給食管理に携わることなく委託会社に依存していたため、利用者のニーズに合った食事が提供されていないという問題があった。
そこで今回より良い食事の提供を目指して、委託会社と共同して、食事の味、盛り付け、彩り、献立、食材の5つの観点から評価し改善を行った。

ICTを活用した業務改善と リスクマネジメント 職員も利用者も 笑顔に生き生きと!!

介護老人保健施設 エスコートタウン静岡
介護福祉士 秋原 真実

▼ねらい
iPhoneからケア記録することで業務改善し、また居室にカメラセンサーを導入し利用者の安心安全に努めた。

▼要旨
人手不足と言われている福祉業界の中で、ICT（HomeQケアサポート）を活用し業務改善することで利用者と関わる時間を確保した。iPhoneからのケア記録を可能にすることで何時でもどこでも記録することが可能になった。
またリスクマネジメントとして居室にカメラ付きセンサーを導入し、職員が携帯するiPhoneに通知が届き、利用者の状況が瞬時に把握することができるようになった。利用者との安心・安全に繋がった。

TOPIC 2

地域と共に新しい未来へ

第17回 東海・北陸ブロック老健大会 〈オンライン開催〉

石川

施設生活における ADLと意欲の関係性について 意欲増加に伴いADLが改善された症例

介護老人保健施設 ヒューマンライフ富士
理学療法士 長澤 和弥

施設で生活をしている利用者のADL向上における阻害因子として意欲の低下が考えられる。意欲増加に伴いADLの向上が見られた症例を参考に、意欲とADLの関係性について考察したため、ここに報告する。

経口移行への支援 認知機能低下による 経管栄養離脱に向けて

介護老人保健施設 富士中央ケアセンター
管理栄養士 若林 あつこ
介護支援専門員 金澤 公美

86歳男性独歩、認知症が徐々に進行し、経口摂取不良となり胃ろう造設。在宅復帰の目標として、バルンカテーテルが外れトイレに行ける、食事が口から摂れるようになる。施設にてバルンカテーテル抜去、経管栄養と併用し食事提供をおこない、在宅復帰につなげた事例報告。

会期

令和4年5月19日(木)

オンライン開催

新型コロナウイルス感染症の影響により、石川県金沢市 金沢市文化ホールからWeb配信にて実施

内容

老人保健施設が地域にどのような役割を果たすのか、果たしていくのかななどを論議

5S活動が発足してから 2年間の軌跡 5S活動に対する職員の意識変化と 見えてきた今後の課題

介護老人保健施設 西山ウエルケア
介護福祉士 池田 百子

働き方改革が推進される昨今、当施設でも業務改善、職員の意識改革が行われ、5S活動を実施している。その結果、仕事の効率化や業務の見直しが進み、利用者の生活支援に時間を設けることができ、職員の意識も変化してきた。現在の5S活動、今後の課題を発表する。

適切な食形態での 食事提供への取り組み 嚥下調整食2021を参考にして

介護老人保健施設 ハイマート有玉
管理栄養士 牧田 純子
管理栄養士 中西 知子

安全・安心な食支援において嚥下機能に合わせた個性が高い食形態での提供に多職種協働で取り組んでいます。「嚥下調整食2021」を参考に当施設の食形態の分類を整理してみたいと思います。

利用者に対する 拘縮予防 介護職でもできること

介護老人保健施設 三方原ベテルホーム
介護職 石橋 昇汰

下肢に拘縮があり移乗やオムツ交換時に痛みを訴える方がおり、少しでも痛み・抵抗の軽減をすることができないかと考えた。そこで、介護職でもできる体操を行い、痛み・抵抗の軽減や関節可動域の維持を目指し、拘縮予防の体操に取り組んだ。

見えない身体拘束を なくすために 観察シート導入による職員の意識変化

介護老人保健施設 桔梗の丘
介護福祉士 和出 早織
介護福祉士 長澤 瞳

拘束ゼロにむけた取り組みが行われているが、目に見える拘束がゼロになっても、スピーチロックや業務優先の介護が行われていると感じていた。観察シート導入により、職員の意識に変化がみられたのでここに報告する。



01・02 会場全景 03・04 企業展の様子 05 記念講演「本物のケア 高齢者を支えるケアとは」元気がでる介護研究所代表 高口 光子 氏
06 基調講演「介護老人保健施設への期待」厚労省老健局 老人保健課課長 古元 重和 氏 07・08 パイプオルガン ガラ コンサート



特集

基調講演「介護老人保健施設への期待」

厚労省老健局 老人保健課課長 古元 重和 氏に、以下の内容で基調講演を行っていただきました。(写真 06)

1. 地域包括ケアシステムの進化・推進
2. 自立支援・重度化防止を重視した質の高い介護サービスの推進
3. 介護人材の確保
4. 令和6年度介護報酬改定に向けて 等

komoto shigekazu

古元 重和 氏

老健局老人保健課長
慶應大学医学部卒の医系技官。
これまで医薬・生活衛生局血液対策課長、健康局がん・疾病対策課長などを務めた。

記念講演「本物のケア 高齢者を支えるケアとは」



介護アドバイザー 元気がでる介護研究所代表 高口 光子 氏に、事例紹介も含め分かりやすく感動的な講演を行っていただきました。(写真 05)

Takaguchi Mitsuko

高口 光子 氏

元気がでる介護研究所 代表
介護アドバイザー（教育研修・人材育成・運営改善）
理学療法士・介護支援専門員・介護福祉士
講演、執筆活動、フェイスブック、NHK に出演し、現場からの等身大の発言・提案で現場を変革させようと精力的に日々を送る。

演題発表一覧

- ・医療と看護介護・コミュニケーション・整容ケア等…………… 座長：中川 利子（介護老人保健施設 安寧の郷）
- ・全般的なケア・認知症…………… 座長：小沼 克典（介護老人保健施設 ユニケア岡部）
- ・業務改善と効率化・その他…………… 座長：古舘 百合子（みゆきの苑）
- ・在宅支援と地域連携 / 地域包括ケアシステム・人材…………… 座長：塩澤 渉（介護老人保健施設 こみに）

県内演題 31 演題

プログラム

第1日目 5/25(木)	第2日目 5/26(金)
9:00 受付	8:00 受付
10:00 開会式	9:00 演題発表第5部
10:30 基調講演	10:00 演題発表第6部
11:30 休憩	11:00 休憩
13:00 演題発表第1部	11:30 記念講演
14:00 演題発表第2部	12:30 閉会式
15:00 演題発表第3部	
16:00 演題発表第4部	
17:20 パイプオルガン	

2023年5月25日(木)～26日(金)
会場：アクトシティ浜松中ホール・浜松コンgresセンター

大会参加者 現地参加488名
オンデマンド配信参加 59施設(177名参加)
計約665名

第18回
東海・北陸ブロック老健大会
静岡
混迷の時代を超えて
「誰一人取り残されない社会」の
実現に向けた老健の役割





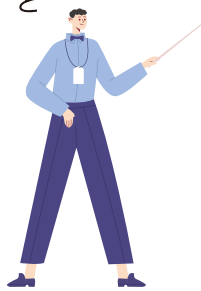
演題発表風景

医療と看護介護・コミュニケーション・整容ケア等

- ▼「自分の人生は自分で決める」
人生会議手帳の活用・看取りケアガイダンス・
パンフレットの作成
介護老人保健施設 西山ウエルケア
看護師 坂本尚枝
- ▼「噛まないで」から「噛んでいいですよ」へ
それ似合っているね！ 発想の転換
介護老人保健施設 入野ケアセンター
介護福祉士 日置 集弥
- ▼口腔衛生に対する意識の変化とこれから
介護老人保健施設 なかよし
介護士 池谷 隆之

リハビリテーション

- ▼生活リハビリって難しい
リハビリ科だからできること
介護老人保健施設 あみ
作業療法士 加藤 彩
- ▼生活リハビリの推進
他職種連携の取り組み
介護老人保健施設 ケアセンター池田の街
理学療法士 石井 麻奈美
理学療法士 矢部 千磨
- ▼自宅での入浴を目指して
介護老人保健施設 エスコートタウン静岡
理学療法士 小澤 幸久
- ▼イス生活による足の冷えに對して
どう向き合っていくべきか
足の温めと運動を取り入れることでの生活の変化は
介護老人保健施設 ひろみ
理学療法士 佐野 公紀
- ▼部署内チーム形成
シームレスなリハビリを目指して
介護老人保健施設 みずほケアセンター
作業療法士 鈴木 真美



リスクマネジメント・医師と医療

- ▼コロナ禍、検体プール検査法による抗原検査を実施して
介護老人保健施設 おおひら
看護師 宇野 友紀
- ▼新型コロナウイルス感染症体験から学んだ介護実践
クラスターを体験して
介護老人保健施設 坂の上うけん曳馬野
介護福祉士 村澤 知栄子
- ▼第7波での新型コロナウイルスの重症化例の検討
みかたはら介護老人保健施設
医師 渡辺 基

食事ケア・栄養・給食・その他

- ▼笑顔を引き出す食事の提供
新たな取り組みについて
介護老人保健施設 ケアセンター池田の街
管理栄養士 片野 京子
- ▼高度誤嚥リスクを認めるADL全介助者の
経口摂取に向けたSTの関わり
とろみ水からゼリー食、ミキサー食から普通食へ移行
した2事例
介護老人保健施設 ケアセンター芳川
言語聴覚士 村松 晶
- ▼施設での食事をより良いものにするため
嗜好調査の取り組みを通じて
介護老人保健施設 みずほケアセンター
管理栄養士 桑鶴 智美
- ▼歯科連携を始めた事による変化と今後
介護老人保健施設 おおひら
管理栄養士 芹澤 利幸

レクリエーション・排泄

- ▼「トイレに行きたい」多職種協働で叶えた利用者の願い
実現した5人とできなかった1人への関わりを振り返る
介護老人保健施設 ケアセンター芳川
介護福祉士 中村 紗雪

リハビリテーション・体位保持、変換、移動等・ 介護ロボット・AI：その他

- ▼ステッカーを用いた生活場面の歩行の効果について
介護老人保健施設 静岡徳州苑
作業療法士 矢田 崇之
- ▼8年間自力摂取できなかった脊髄損傷者の
食事動作獲得を目指して
PSBによる食事動作の獲得に向けた施設内連携について
介護老人保健施設 ケアセンターゆうゆう
理学療法士 川口 恭平

車椅子生活による施設在籍月数と膝関節の可動域の 関係性について

- 介護老人保健施設 坂の上うけん曳馬野
理学療法士 青木 統

全般的なケア

- ▼コロナ禍におけるヘルプ体制と多職種連携
介護老人保健施設 富士中央ケアセンター
介護福祉士 若松 信宏

全般的なケア・認知症

- ▼「望む生活の実現のために」
利用者理解シートの誕生
介護老人保健施設 梅名の里
介護福祉士 小澤 幸久
- ▼個別ケアを深めるために
ADL評価表からの気づき
介護老人保健施設 西山ウエルケア
介護福祉士 江間 友哉
- ▼利用者と家族を繋ぐリモートを活用した支援の形
コロナ禍で生まれた新たな試み
介護老人保健施設 ヒューマンライフ富士
支援相談員 杉山 英之
- ▼入所者の生活の質を低下させない感染管理について考える
老健におけるウィズコロナとは何か
みかたはら介護老人保健施設
看護師 相原直子



業務改善と効率化

- ▼ICTを活用した業務改善とリスクマネジメント
職員も利用者も笑顔に生き生きと!!
介護老人保健施設 エスコートタウン静岡
介護福祉士 秋原 真実

在宅支援と地域連携／地域包括ケアシステム

- ▼コロナ禍における在宅復帰から見えてきた課題
介護老人保健施設 入野ケアセンター
ケアプランセンター入野 主任ケアマネ 尾上 孔美佳
- ▼血縁関係がない方の入所
宗教団体のコミュニティ
介護老人保健施設 きらりの森
支援相談員 松尾 晃

在宅復帰に向けたフロアでの取り組み 利用者様のストレングスを活かして

- 介護老人保健施設 白脇ケアセンター
看護師 橋本 瞳

在宅支援と地域連携／地域包括ケアシステム・人材

▼一般介護予防事業への第一歩

- 介護老人保健施設 三方原ベテルホーム
介護職 松井 豊美

フレイルが進行しやすい老健入所者の在宅復帰に向けた 多職種連携

- 在宅復帰から生活継続を見据えた、退所支援シートの活用
介護老人保健施設 萩の里
作業療法士 榎原 剛

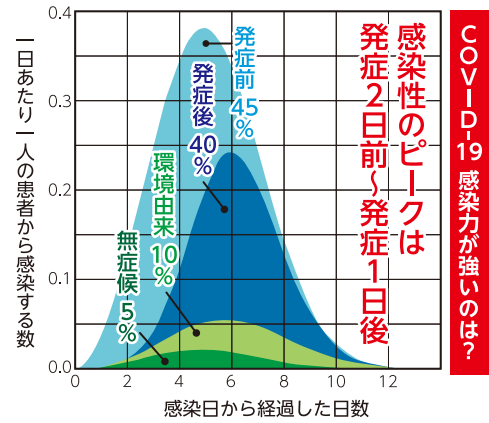
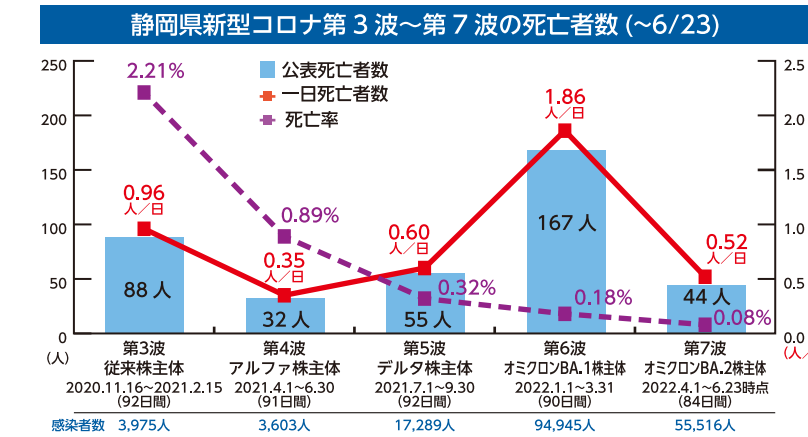
▼最期は自宅で看取りたい 家族の思いに寄り添いながら、施設から在宅での看取り を支援する

- 介護老人保健施設 芙蓉の丘
介護支援専門員 佐伯 久実

実行委員会委員 (順不同)

- ・静岡県老人保健施設協会 会長 小出 幸夫
- ・静岡大会事務局 西山ウエルケア
- ・ユニケア岡部
- ・ヒューマンライフ富士
- ・三方原ベテルホーム
- ・安曇の郷
- ・ケアセンターゆうゆう

- ・ひろみ
- ・こみに
- ・梅名の里
- ・きらりの森
- ・坂の上うけん曳馬野
- ・入野ケアセンター



治療

- 基礎疾患を含めた全身管理
- 酸素投与
- 人工呼吸器管理
- ECMO（体外式膜型人工肺）
- 抗ウイルス薬（レムデシビル）
- 免疫抑制（デキサメサゾン、トシリズマブなど）
- 抗凝固薬
- 抗体療法

COVID-19時代の標準予防策

- ユニバーサlmスキング
- ソーシャルディスタンス
- 換気
- 手指衛生
- 体調不良時の連絡

施設内伝播を防ぐために日頃からの対策を意識付ける！

- 患者・入所者とスタッフが接する場合は両方にマスクを着用・患者にマスク使用を促す
- 食事介助や口腔ケアを行う場合、スタッフは目の防護具をつける
- 休憩中や食事中もマスクを着けて会話・ワフチン接種

クラスター発生しやすい施設の共通点

- 職員の休憩室が狭い
- 介護者にアルコール手指消毒の習慣化がない
- 入所者・利用者のマスク着用率が低い
- 平時から飛沫対策が不十分
- （食事や歯磨き時の目の防護）
- 複数人のコップや歯磨き用品をまとめて保管

コロナワフチンの効果

- 接種／非接種とも約60万人
- 感染症発症を94%抑制

クラスター時の感染対策

- 濃厚接触者の定義と対応↓検査プラン
- ゾーニングの確認
- 適切な防護具とタイミング
- 職員・職員間伝播防止策

ゾーニング

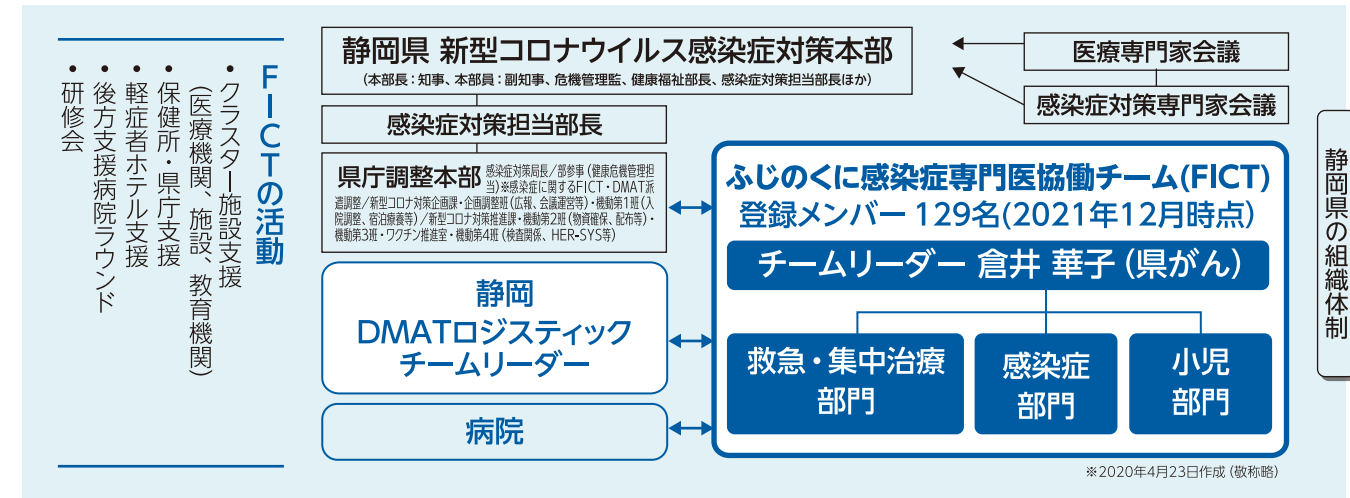
- 病原体によつて汚染されている区域と汚染されていない区域を区別すること
- 汚染区域をレッドゾーン、清潔区域をグリーンゾーンとも呼ぶ
- 汚染区域と清潔区域の中間をイエローゾーンとして設置することもあるが、位置づけがあいまいとなるため推奨しない

レッドゾーン判断のポイント

	居室毎	エリア全体
メリット	・入所者-入所者伝播を減らす ・スタッフの体力温存	・スタッフの着脱時間短縮 ・着脱時の汚染軽減
デメリット	・着脱時間がかかる ・防護具の数が必用	・エリア環境が汚染 ・PPE時間が長く消耗
どんな時	・陽性者が少ない ・マンパワーがある	・濃厚接触者が多い ・マンパワーが少ない

まとめ

- 普段から施設内伝播を防ぐ対策が当たり前でできている組織作り
- クラスター発生時の指揮命令系統、組織図を決めておく
- クラスターで疲弊し、施設が倒れてしまふことを避ける（スタッフのストレス対応、施設内外への説明）



研修会2 掲載資料：倉井華子氏の講演資料より抜粋

研修会 1

オンライン開催 2022.6.28 tue 外国人材活用セミナー



3月から海外人材の新規入国が再開し、外国人材の新規雇用について検討する企業様が増えています。セミナーでは、行政、外国人材育成者、受入れ施設、支援者それぞれの立場から、外国人材についての独自の見解や雇用の際にお役立ちいただける情報をお伝えしました。また、「海外人材との共生について」をテーマにパネルディスカッションを実施し、参加者様からの質問事項についても各々の視点よりご回答しました。

プログラム

- 開会の辞
静岡県老人保健施設協会会長 小出 幸夫
- 静岡県における外国人介護人材に関する取り組みについて
静岡県介護保険課 班長 伊藤 陽子氏
- 育成者の立場から見た外国人材のリアル
～受入れに役立つコミュニケーションの工夫とは～
株式会社ONODERA USER RUN
第一営業統括 常務執行役員 岩崎 庸介氏
- 現地学生とのオンライン交流会
- 外国人介護人材受入れ施設での評価や育成のエッセンス
医療法人社団一穂会・西山病院グループ
専務理事 石岡 晃氏
- 来日した外国人を支援する立場としての見解について
一般社団法人グローバル人材サポート浜松
代表理事 堀 永乃氏
- パネルディスカッション
～海外人材との共生について～

研修会 2

オンライン開催 2022.7.29 fri 高齢者施設における新型コロナウイルス感染症クラスター発生 — その特徴と対策 —

内容

第1部

講演会「COVID-19感染症 臨床と対策」について
クラスター感染対策FICT活動から見えてきたもの

講師 倉井華子氏

静岡県立静岡がんセンター感染症内科部長
静岡県新型コロナウイルス感染症対策専門家会議座長
ふじのくに感染症専門医協働チームリーダー

第2部

事例発表会として、新型コロナウイルス感染症クラスターを経験した施設より

▼坂の上ろっけん曳馬野

「高齢者施設コロナウイルス集団発生報告事例」
「クラスター対応から学んだこと」
「ヒューマンライフ富士」

「新型コロナウイルス感染症施設でのクラスター事例報告」

コロナの2年半を振り返る

2020年1月-9月

- 日本の1例目→クルーズ船入港
- 初の緊急事態宣言
- ユニバーサlmスキング/換気/三密

2020年10月-2021年6月

- ワフチン接種開始
- 医療機関/施設クラスター多発
- レムデシビル、ステロイドのエビデンス

2021年7月-

- 第5波（デルタ）：重症者の増加
- 第6波（オミクロン）：患者数の増加
- ワフチン3-4回目接種
- 抗体療法、抗ウイルス薬

4.事故対応方法の見直しのポイント

3 誤薬事故

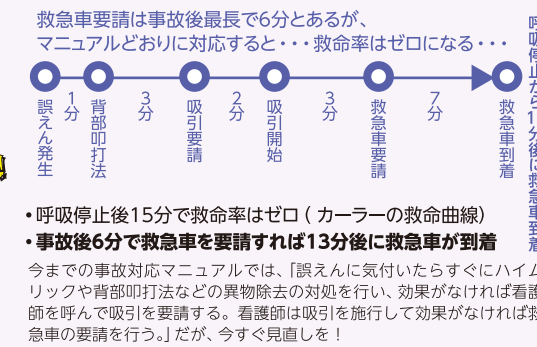
誤薬事故は「即受診」が鉄則！

- ① 他人の薬がその人の身体に悪影響を及ぼすことある
- ② 他人の薬がその人の身体に悪影響を及ぼすことある
- ③ 他人の薬がその人の身体に悪影響を及ぼすことある
- ④ 他人の薬がその人の身体に悪影響を及ぼすことある
- ⑤ 他人の薬がその人の身体に悪影響を及ぼすことある

- ① 容態確認
看護師を呼び「痛みの有無」「受傷部位」「バイタル値」などを確認し記録する。
- ② 事故状況検証
介護職と看護師で発見時の状況を記録し、事故状況（事故に至った経過を推定する。認知症の利用者に対しても状況を聞き記録する。）
- ③ 受診判断
腫脹、痛み、可動域、バイタルを確認して、看護師が受診の必要性を判断する。ただし、認知症の利用者については痛み、顔面などに打ち身があれば頭部打撲があったと判断し、経過観察は不可とする。
- ④ 家族連絡
家族連絡の上、受診判断とその根拠を説明して了解を得る。夜間の連絡の必要性は個別家族ごとに取り決めるが、基本は全ての事故で連絡を入れる方向で調整する。
- ⑤ 経過観察方法
受診せず経過観察とした場合、何時間おきに何を観察し記録するのルール化する。体温、血圧などのバイタル値の他にも、表情や呼吸の変化について丁寧に観察し記録する。
- ⑥ 容態変化時の受診判断
経過観察中の容態変化や訴えによる受診判断のルールを決める。

- ① 容態確認
看護師を呼び「痛みの有無」「受傷部位」「バイタル値」などを確認し記録する。
- ② 事故状況検証
介護職と看護師で発見時の状況を記録し、事故状況（事故に至った経過を推定する。認知症の利用者に対しても状況を聞き記録する。）
- ③ 受診判断
腫脹、痛み、可動域、バイタルを確認して、看護師が受診の必要性を判断する。ただし、認知症の利用者については痛み、顔面などに打ち身があれば頭部打撲があったと判断し、経過観察は不可とする。
- ④ 家族連絡
家族連絡の上、受診判断とその根拠を説明して了解を得る。夜間の連絡の必要性は個別家族ごとに取り決めるが、基本は全ての事故で連絡を入れる方向で調整する。
- ⑤ 経過観察方法
受診せず経過観察とした場合、何時間おきに何を観察し記録するのルール化する。体温、血圧などのバイタル値の他にも、表情や呼吸の変化について丁寧に観察し記録する。
- ⑥ 容態変化時の受診判断
経過観察中の容態変化や訴えによる受診判断のルールを決める。

- ① 容態確認
看護師を呼び「痛みの有無」「受傷部位」「バイタル値」などを確認し記録する。
- ② 事故状況検証
介護職と看護師で発見時の状況を記録し、事故状況（事故に至った経過を推定する。認知症の利用者に対しても状況を聞き記録する。）
- ③ 受診判断
腫脹、痛み、可動域、バイタルを確認して、看護師が受診の必要性を判断する。ただし、認知症の利用者については痛み、顔面などに打ち身があれば頭部打撲があったと判断し、経過観察は不可とする。
- ④ 家族連絡
家族連絡の上、受診判断とその根拠を説明して了解を得る。夜間の連絡の必要性は個別家族ごとに取り決めるが、基本は全ての事故で連絡を入れる方向で調整する。
- ⑤ 経過観察方法
受診せず経過観察とした場合、何時間おきに何を観察し記録するのルール化する。体温、血圧などのバイタル値の他にも、表情や呼吸の変化について丁寧に観察し記録する。
- ⑥ 容態変化時の受診判断
経過観察中の容態変化や訴えによる受診判断のルールを決める。



- ① 誤えんの発生に気付いたら、迅速に看護師に吸引を要請。
- ② 介護職は看護師が吸引を開始するまでハイムリックなどの救急救命措置を行う。
- ③ 看護師は吸引を開始する時に救急車を要請し、救急車到着まで吸引を施行する。

人材育成セミナー オンライン開催 2023.1.19 thu

介護リーダーのためのスタッフ育成

スタッフ育成はリーダーの関わりしだい



講師 岩永 美穂 氏

東京会場日動ベターライフサービス株式会社
企画部 専門部長
社会福祉士・ケアマネジャー

北海道出身。青山学院大学文学部卒・日本社会事業学校研究科卒
介護施設の運営コンサルティング・介護老人保健施設の相談室長・大手訪問介護事業者にて教育研修を担当。2004年に東京会場日動ベターライフサービス（株）に入社し研修責任者に就任。現在は介護事業者向けのセミナーや一般企業向けの「仕事と介護の両立セミナー」講師を担当。説得力ある事例と明るくわかり易い解説が人気の講師。

東京会場日動ベターライフサービス株式会社
（東京会場グループの高齢者向け介護サービスの会社）

在宅介護事業：みずたま介護ステーション（訪問介護・居宅介護支援）、首都圏42事業所
施設介護事業：介護付き有料老人ホーム11施設、およびサービス付き高齢者向け住宅、2事業所

- セミナー内容**
- ・スタッフの定着は終わりになき課題
 - ・まずはスタッフを理解しよう
 - ・スタッフ育成の具体的なポイント
 - ・理念、方針の共有があらゆる事業運営の基本
- 対象職種**
- ・施設・事業所の管理者・リーダー
 - ・リーダー候補者 等



オンラインセミナーの様子

研修会 3

オンライン開催 2022.8.18 thu

高齢者のリスクマネジメント

「目指せ事故ゼロ」より防ぐべき事故に防止対策を

1.事故防止活動の基礎知識 ●新しい事故防止活動に切り替えよう

旧 事故防止活動

事故の原因は人のミスだから、「ミスをしないように人を管理する」
人のミスにも必ず原因がある
↓
ミスの原因を改善していないから
何度も同じミスが起きる

新 事故防止活動

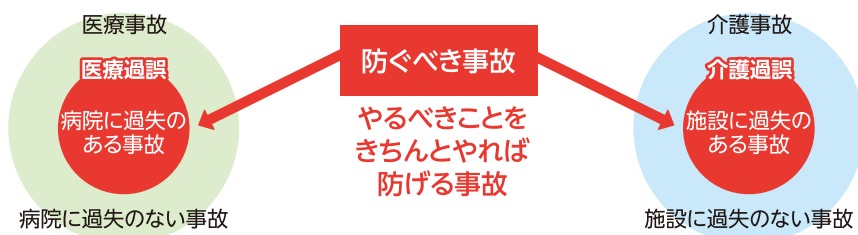
「人は誰でも必ずミスをする」ことを前提に取り組む

1. ミスの原因を含めて事故原因を改善する活動
2. ミスが起きても事故につながらない仕組みづくり

**職員が個々に取り組んでも成果は上がらない
「組織で取り組み事故防止の仕組みを作る」**

2.防ぐべき事故を明確にしよう 全ての事故は防げない▶事故はゼロにならない

防ぐべき事故と防げない事故を区分し、防ぐべき事故に防止対策を講じる



防げない事故を家族に理解してもらう取り組み ▶

このようなシートを作成して防げない転倒事故があることを家族にわかりやすく説明。家族にも転倒防止に協力を求めた。

危険箇所
点検

危険箇所	危険箇所	危険箇所	危険箇所	危険箇所	危険箇所
1. 廊下	2. 浴室	3. 玄関	4. 居室	5. 厨房	6. 洗面所
7. トイレ	8. 入浴室	9. 更衣室	10. 待合室	11. 受付	12. 事務室
13. 会議室	14. 図書室	15. 音楽室	16. 体育館	17. 運動場	18. その他

**簡単に取り組みができて効果は抜群
いつ取り組んだら効果が高いか？**



防げない
転倒事故

3 現場の取組から学ぼう

◀年に1回の危険箇所点検で設備や用具の危険を改善しよう

《施設内危険箇所点検活動の取り組み方法》

- ① 施設内危険箇所点検票を配布
全職員に危険箇所点検票を配布し、業務中に発見した危険箇所を記入してもらう
- ② 危険箇所改善管理表を作成
1週間後に危険箇所点検票を回収し危険箇所改善管理表を作成する
- ③ 優先順位を決めて改善する
改善の優先順位と改善担当者を決めて、1年間かけて順次改善していく

リハビリテーション部会

令和4年度

リハビリテーション部会

令和4年11月30日(水)

オンライン形式

テーマ「生活リハビリの実施と成果」

主催 萩の里

あみ

生活リハビリとは着替えやトイレ、入浴などの日常生活動作をリハビリと捉え自分の力で出来るように支援する事で、在宅復帰を目指す利用者様にとって重要なリハビリの一つと考えています。

本会では、35施設から40名近くのリハビリ職員が参加され、各施設の取り組み発表に耳を傾け、グループワークでは積極的な意見交換がされました。

各施設の取り組み内容

介護老人保健施設萩の里からは「地域包括ケアシステムでの老健の役割」入所サービスから在宅生活に向け多職種連携した取り組み」というテーマの発表がありました。

在宅復帰後の在宅生活が安全で健康的に継続できることを利用者様とご家族の共通目標とし、多職種にて課題点を抽出し改善できた内容について報告されました。多職種によるチーム支援を強化するために、生活リハビリのシートを作成し各職種が確認しながら支援した事例も紹介されました。

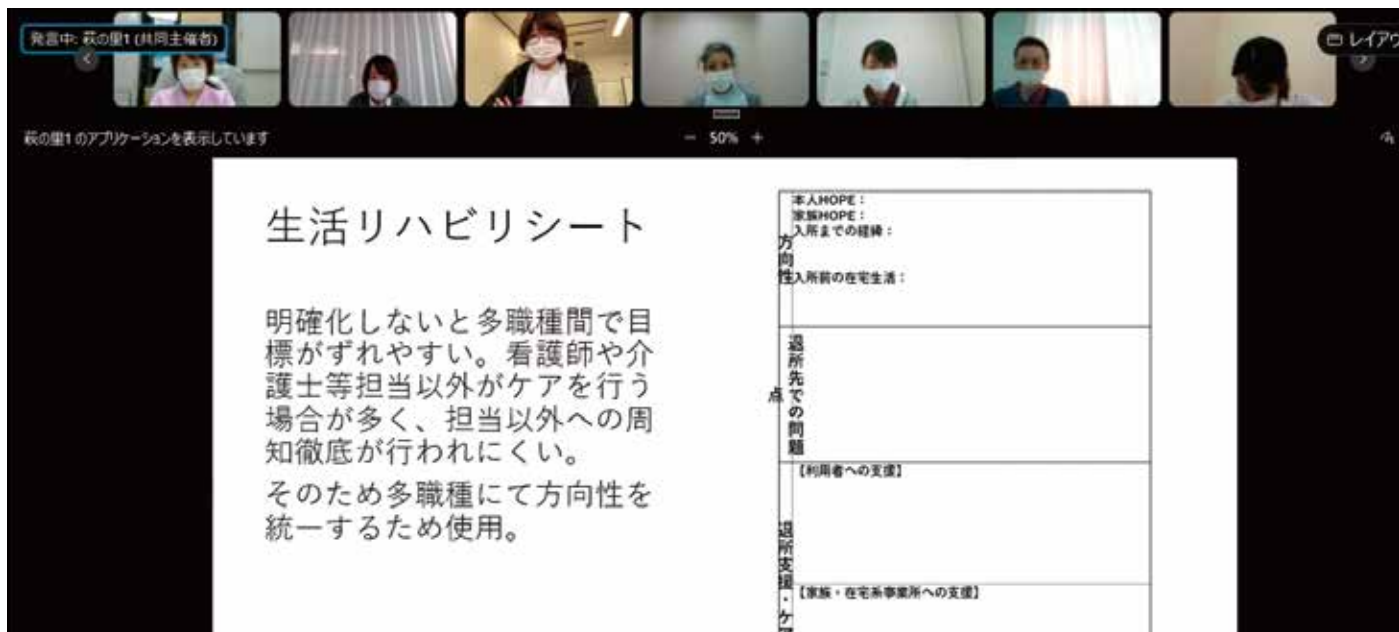
介護老人保健施設あみでは「老健におけるリハ職の役割」生活リハビリって難しい、リハビリ科だからできること」というテーマの発表がありました。スタッフ間の「できるADL」と「しているADL」の乖離を無くすために、介助方法の勉強会や介助の注意点を見える化したカードの配布、リハビリの訓練を多職種が見える環境で行うなどの報告がありました。実際に使用されたカードも示され、参加された皆様におかれましては大変参考になったことと思われます。

グループワーク

6グループに分かれてグループワークを行いました。グループごとに各施設での生活リハビリの現状を共有し、実践していく上での課題や工夫した点を話し合い、代表者1名にグループで出た意見を発表して頂きました。発表の中では多職種連携の難しさが多く挙がっていました。この課題を解決する手段として、以下3点が挙げられました。

- ① 生活リハビリの目的を明確にすること
- ② 試験的な運用から見えてきた成果を共有すること
- ③ 定期的なリハビリ内容の見直しをすること

今回の研修会で老健が生活期のリハビリテーションの施設として参加者に認識されていることがわかりました。コロナ過ということもあり県内の施設が集まる機会が減っている中で、他施設の意見を聴けることはとても貴重なことだったと思います。研修会で得た意見を自施設で反映し、利用者様の生活に還元していければと考えています。



オンライン形式の様子

入野ヶアセンタ
こみに

ペットボトルが欲しい？

運用の効率化

BCPは基本的にリスク（地震・風水害・新型コロナウイルス）ごとに策定することが一般的です。その理由はリスクによって対応することが変わるからです。

発災後

事前の予知による事前の
対応ができることが多い。
台風の接近、大雨を事前
に知り対応ができる

2021年の介護報酬改定において、介護施設における事業継続計画（BCP）の策定が義務づけられました。

事前アンケートを見ると、

月に向けて策定を進めている施設が多く、

意識の高まりを感じています。ただ、同じ

立地であっても併設サービスのことに文策も

すねばならず、対策を考えても考えても

中々終わりが見えないのも現状ですが、緊

急時に利用者と職員、施設を守るために

出来る限りの備えを行い、実践できるBC

Fを策定していきたいと思ひます

度嘉敷先生、ありがとうございました。

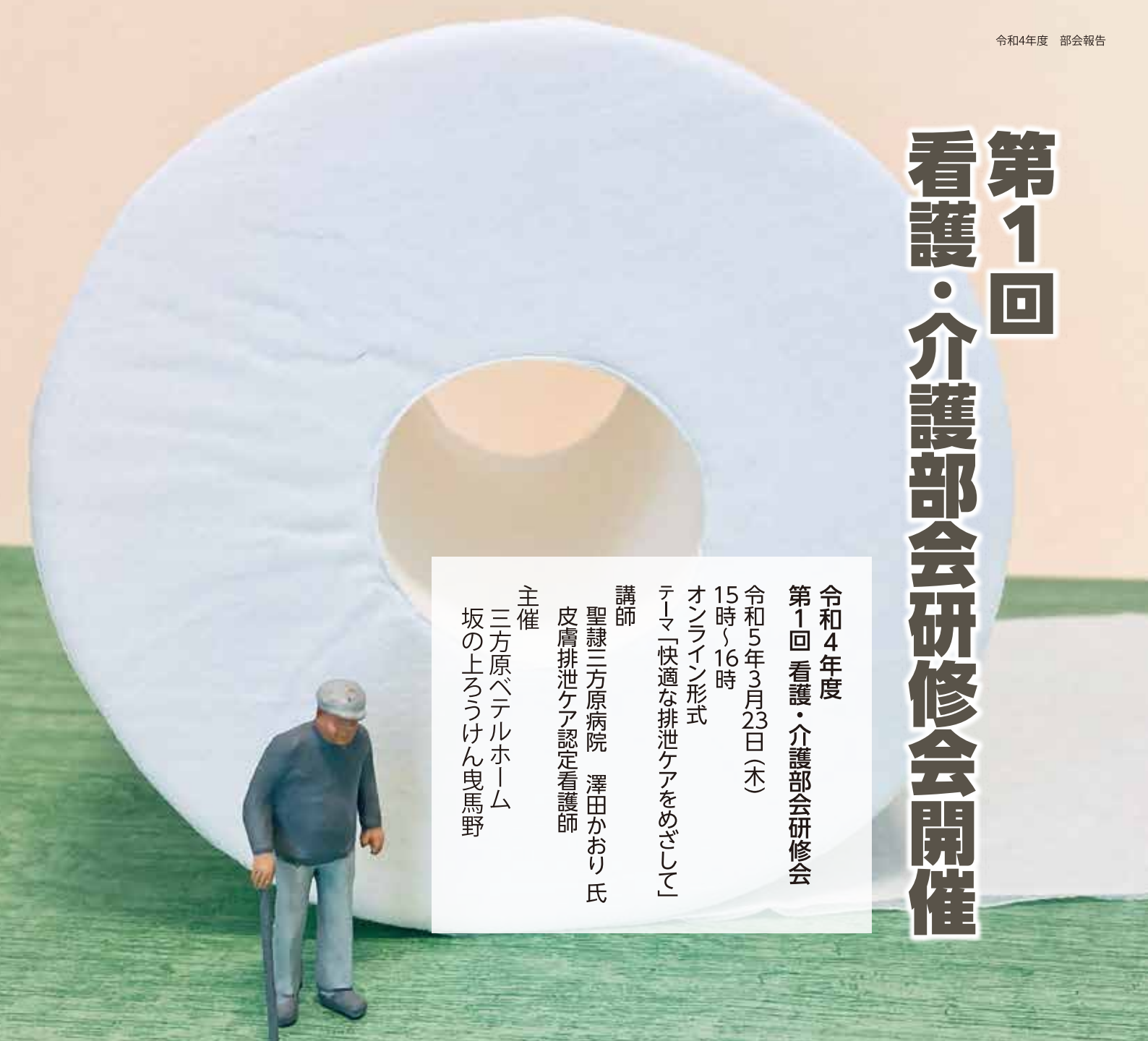
参加された皆様、お疲れ様でした。

危機回避

- 施設長
- 事務長・部長
- 課長・管理者
- 主任・リーダー
- 事務職員
- 副施設長
- 事務次長
- 施設内防災委員会 委員長
- 防火管理者
- 防災委員長

第1回 看護・介護部会研修会開催

令和4年度
第1回 看護・介護部会研修会
令和5年3月23日(木)
15時～16時
オンライン形式
テーマ「快適な排泄ケアをめざして」
講師
聖隷三方原病院 澤田かおり氏
皮膚排泄ケア認定看護師
主催
三方原ベテルホーム
坂の上ろっけん曳馬野



快適な排泄ケアをめざして

今回は「快適な排泄ケアをめざして」と題して、聖隷三方原病院の澤田かおり氏に講師をお願いしました。
当日は県内各施設より26名がオンラインにてご参加いただきました。
排泄についての考え方や生活動作、配慮すべき排泄ケアの基本姿勢などが示され、高齢者の排泄の特徴や付随するトラブルについて、丁寧に講義していただきました。今後私たちが排泄ケアに関わる際の様々なトラブルの解決の一助となる研修となりました。



まとめ

- ・排泄は人が生きていくために欠かせない行為で、生物が本来持っている生理的欲求のひとつである。
- ・人に頼らず、自分で処理したいと思う行為。
- ・排泄は生活の一部であり、生活全体からケアを行うことが大切。
- ・排泄行為のどこに問題があるか見極め、個々の状況に合わせた介入をする事が大切。
- ・排泄ケアはより気持ちの良い排泄ケアを目指し介入していく。



皮膚トラブルを起こさないためには？

洗浄

- 排泄物などの汚染や菌が繁殖しやすいため、洗浄し汚れを除去する事が大切
- ・基本的には一日一回
 - ・洗浄剤は弱酸性を使用すると良い
 - ・洗浄剤をよく泡立てて、泡で汚れを包み込むように、なでるように洗う
 - ・洗浄剤が残らないように、十分なお湯で洗い流す
 - ・洗浄後は押さえ拭き

保湿

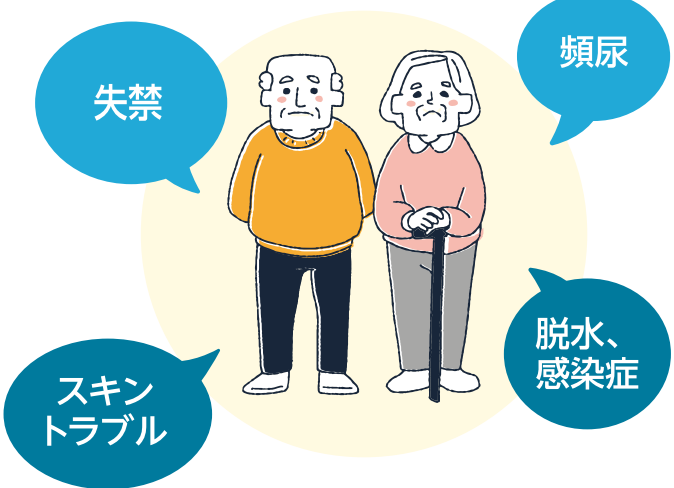
- 保湿をすることで皮膚の乾燥を防ぎ、刺激から皮膚を守る
- ・保湿剤は本人に合わせて伸びがよく使いやすいものを選択するとよい
 - ・排泄物に汚染される部位よりも広範囲に塗布する

保護

- 排泄物の皮膚への付着を防ぐ
- ・排泄物に汚染されやすい部分に塗布する
 - ・おむつ交換時に効果を確認し追加する

高齢者の排泄の特徴

- ・膀胱にたくさん尿を貯められなくなる
- ・一回尿量が少なくなる
- ・尿回数が増える、何度もトイレに行く
- ・失敗を気にして食事や水分を取らない
- ・尿路感染を起こしやすい
- ・トイレの場所が分からなくなる



- ・ズボンの上げ下げに時間がかかる
- ・トイレに行くまでに時間がかかる
- ・尿や便を我慢ができない
- ・尿の勢いがなくなった、尿の切れが悪い
- ・皮膚トラブルを起こしやすい

年間計画

令和5年度
静岡県老人保健施設協会

月日	研修名	内容	備考
随時	幹事会		
5月25日(木) 5月26日(金)	第18回東海・北陸ブロック老健大会 静岡		事務局
7月中旬	2023年度定期総会	2022年度事業報告、歳入歳出報告、決算報告 2023年度事業計画案、歳入、歳出予算案	書面評決
秋頃予定	研修会1	沖縄県立中部病院 高山 善浩 先生 講演	
未定	研修会2	高口 光子 先生 講演	
12月～2月予定 実務者連絡会にて	研修会3	(株)ASK 梓診療報酬研究所 中林 梓 先生 「介護報酬改定について(仮)」	
11月	リハビリ部会研修会	主催：萩の里、あみ	
11月	職員研修発表会		
1月	栄養部会研修会	主催：おおひら、ケアセンター池田の街	
1月	相談員・ ケアマネ部会研修会	主催：みゆきの苑、安寧の郷	
2月	通所リハビリ部会	主催：ゆうゆう、ひろみ	
2月	防災部会	主催：こみに、入野ケアセンター	
3月	看護・介護部会研修会	主催：坂の上ろうけん曳馬野、三方原ベテルホーム	
3月	機関誌部会	担当：ユニケア岡部、ヒューマンライフ富士	

※オンライン会議は集合研修もあり得る。

memo

事業報告

令和4年度
静岡県老人保健施設協会 《各職域部会・研修会開催状況》

月日	研修名	内容	備考
5月24日(火)	2022年度定期総会	2021年度事業報告、歳入歳出報告、 決算報告 2022年度事業計画案、歳入、歳出予算案	日程(5月17日) は書面表決締切日
6月28日(火)	第一回研修会	外国人材活用セミナー	参加端末数：18
7月29日(金)	第二回研修会	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症 クラスター発生 - その特徴と対策 -	参加端末数：31
8月18日(木)	第三回研修会	高齢者のリスクマネジメント -「目指せ事故ゼロ」より防ぐべき事故に防止対策を-	参加端末数：16
11月30日(水)	リハビリ部会研修会	生活リハビリの取り組み	主催：萩の里、あみ
1月19日(木)	第四回研修会	人材育成セミナー「介護リーダーのためのスタッフ育成 -スタッフ育成はリーダーの関わりしだい-」	参加端末数：26
2月16日(木)	防災部会	台風15号の振り返り	主催：こみに、 入野ケアセンター
3月23日(木)	看護 ・介護部会研修会	高齢者施設における排泄ケアの留意点	主催： 坂の上ろうけん曳馬野、 三方原ベテルホーム
4月28日(木) 9月12日(月)	幹事会	定期総会資料について、 第18回東海・北陸ブロック老健大会静岡について	オンライン
3月30日(木)	幹事会	第18回 東海・北陸ブロック老健大会静岡について	アクトシティ浜松 にて

※オンラインでの会議および研修は Cisco Webex を使用

memo

18

医療法人社団 勝友会
サン静浦

☎055-934-6000 📠055-934-8288

[所在地] 〒410-0106 沼津市志下344-1
●開設／平成14年2月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名



19

医療法人社団 敬寿会
夢の樹の郷

☎055-971-1000 📠055-971-1003

[所在地] 〒411-0902 駿東郡清水町玉川183-1
●開設／平成15年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／50名



20

医療法人社団 築紀会
みしゅくケアセンターわか葉

☎055-997-8181 📠055-997-8302

[所在地] 〒410-1107 裾野市御宿1475
●開設／平成15年11月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



21

医療法人社団 聴友会
いかる野

☎0544-54-3200 📠0544-54-3201

[所在地] 〒418-0105 富士宮市原709
●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



22

伊東市介護老人保健施設
みはらし

☎0557-37-3804 📠0557-37-6678

[所在地] 〒414-0055 伊東市岡187
●開設／平成18年4月 ●入所定員／125名 ●通所定員／30名



23

医療法人社団 辰五会
ふれあいの下田

☎0558-27-0700 📠0558-27-1117

[所在地] 〒415-0013 下田市柿崎32-10
●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名



24

医療法人 啓仁会
いとうの杜

☎0557-35-4165 📠0557-35-4101

[所在地] 〒414-0002 伊東市湯川1288-9
●開設／平成18年11月 ●入所定員／137名 ●通所定員／60名



25

独立行政法人地域医療機能推進機構
三島総合病院附属介護老人保健施設

☎055-983-6050 📠055-983-6070

[所在地] 〒411-0801 三島市谷田字藤久保2276
●開設／平成13年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



26

社会福祉法人 秀生会
富士中央ケアセンター

☎0545-72-3800 📠0545-72-3803

[所在地] 〒419-0201 富士市厚原372-1
●開設／平成25年3月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名



27

共立蒲原総合病院組合
芙蓉の丘

☎0545-56-2311 📠0545-56-2711

[所在地] 〒421-3306 富士市中之郷2500-1
●開設／平成13年6月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名



28

医療法人社団 青虎会
介護老人保健施設 菜の花の丘

☎0550-76-5800 📠0550-76-5804

[所在地] 〒410-1313 駿東郡小山町竹之下321
●開設／平成27年9月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名



29

医療法人社団 真仁会
あいの郷

☎055-965-4123 📠055-965-4133

[所在地] 〒410-1102 静岡県裾野市深良 2929
●開設／平成13年12月 ●入所定員／100名 ●通所定員／90名



6

社会福祉法人 静和会
梅名の里

☎055-977-8686 📠055-977-8090

[所在地] 〒411-0816 三島市梅名578
●開設／平成6年8月 ●入所定員／100名 ●通所定員／66名



7

医療法人社団 聡誠会
長泉ケアセンター博寿園

☎055-989-1121 📠055-988-6565

[所在地] 〒411-0945 駿東郡長泉町本宿418-1
●開設／平成7年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



8

医療法人社団 真養会
おおひら

☎055-934-1165 📠055-932-7934

[所在地] 〒410-0821 沼津市大平1117-1
●開設／平成7年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名



9

医療法人社団 青虎会
あすなろ

☎0550-88-0007 📠0550-88-1101

[所在地] 〒412-0045 御殿場市川島田1076-2
●開設／平成7年5月 ●入所定員／199名 ●通所定員／120名



10

医療法人財団 百葉の会
ききょうの郷

☎0545-65-2000 📠0545-65-2001

[所在地] 〒416-0946 富士市五貫島175
●開設／平成9年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／70名



11

社会医療法人 志仁会
ラ・サンテふよう

☎055-989-7000 📠055-989-7005

[所在地] 〒411-0047 三島市佐野1205-3
●開設／平成9年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／80名



12

医療法人社団 望洋会
のぞみ

☎0557-48-0658 📠0557-48-0655

[所在地] 〒414-0001 伊東市宇佐美中里2405-2
●開設／平成11年2月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名



13

医療法人社団 仁信会
みゆきの苑

☎0544-28-3900 📠0544-25-3939

[所在地] 〒418-0005 富士宮市宮原337-4
●開設／平成11年4月 ●入所定員／109名 ●通所定員／70名



14

医療法人社団 鳳林会
河津おもと苑

☎0558-35-7770 📠0558-35-7771

[所在地] 〒413-0502 賀茂郡河津町川津筏場1512-18
●開設／平成11年9月 ●入所定員／50名 ●通所定員／12名



15

医療法人社団 健育会
しおさい

☎0558-52-3000 📠0558-52-5577

[所在地] 〒410-3514 賀茂郡西伊豆町仁科243-1
●開設／平成12年3月 ●入所定員／50名 ●通所定員／30名



16

医療法人社団 静岡メディカルアライアンス
なぎさ園

☎0558-62-6800 📠0558-62-7255

[所在地] 〒415-0152 賀茂郡南伊豆町湊674
●開設／平成13年4月 ●入所定員／80名 ●通所定員／20名



17

医療法人社団 広見会
ひろみ

☎0545-21-6600 📠0545-21-1003

[所在地] 〒417-0801 富士市大淵39-1
●開設／平成14年4月 ●入所定員／90名 ●通所定員／40名



静岡県東部



4

一般財団法人富士心身リハビリテーション研究所
富士ケアセンター

☎0544-22-3111 📠0544-22-3907

[所在地] 〒418-0035 富士宮市星山1129
●開設／平成6年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名



5

医療法人社団 敬寿会
安寧の郷

☎0558-76-8100 📠0558-76-8101

[所在地] 〒410-2315 伊豆の国市田京1258-44
●開設／平成6年5月 ●入所定員／150名



1

医療法人社団 聴友会
リバブルケア

☎0544-54-1800 📠0544-54-0522

[所在地] 〒418-0105 富士宮市原682
●開設／平成2年4月 ●入所定員／72名 ●通所定員／40名



2

医療法人社団 康生会
Kanon

☎0550-83-3567 📠0550-82-3887

[所在地] 〒412-0043 御殿場市新橋1175-1
●開設／平成4年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名



3

医療法人社団 喜生会
ヒューマンライフ 富士

☎0545-36-0511 📠0545-36-2677

[所在地] 〒417-0801 富士市大淵3901-1
●開設／平成5年7月 ●入所定員／195名 ●通所定員／60名



23
医療法人社団聖雄会
かりん

☎054-268-6666
📠054-268-6660

[所在地] 〒421-0105 静岡市駿河区宇津ノ谷1-1
●開設/平成17年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

24
医療法人社団 宝徳会
ケアセンター池田の街

☎054-267-2211
📠054-267-2700

[所在地] 〒422-9005 静岡市駿河区池田185-1
●開設/平成17年4月 ●入所定員/110名 ●通所定員/60名

25
医療法人財団 百葉の会
鶴舞乃城

☎054-361-1234
📠054-361-0800

[所在地] 〒424-0114 静岡市清水区庵原町3158
●開設/平成19年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/70名

26
医療法人 志太会
ユニケア岡部

☎054-667-5555
📠054-667-3623

[所在地] 〒421-1131 藤枝市岡部町内谷1473-3
●開設/平成15年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名

27
医療法人社団オール・アンド・オー
エスコートタウン静岡

☎054-267-1010
📠054-267-1060

[所在地] 〒420-0821 静岡市葵区柚木90-1
●開設/平成19年9月 ●入所定員/120名 ●通所定員/70名

28
医療法人財団 百葉の会
星のしずく

☎054-200-5555
📠054-200-5558

[所在地] 〒420-0805 静岡市葵区城北87
●開設/平成24年5月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

29
医療法人 杏林会
リハビリパーク駿府

☎054-266-3611
📠054-266-3613

[所在地] 〒420-0873 静岡市葵区藤上8-6
●開設/平成24年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名

30
医療法人社団 健寿会
もくれん

☎054-366-5101
📠054-366-5102

[所在地] 〒424-0104 静岡市清水区草ヶ谷字クツツウヶ谷624-22
●開設/平成22年4月 ●入所定員/158名 ●通所定員/0名

31
医療法人 沖縄徳洲会
あじさい

☎0548-23-0231
📠0548-23-0235

[所在地] 〒421-0421 牧之原市細江3208-1
●開設/平成26年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名

32
医療法人 沖縄徳洲会
静岡徳洲苑

☎054-277-3300
📠054-277-3305

[所在地] 〒421-1221 静岡市葵区牧ヶ谷811-15
●開設/平成24年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/18名

33
医療法人 杏林会
リハビリパーク清水

☎054-367-0101
📠054-367-0115

[所在地] 〒424-0005 静岡市清水区石川135
●開設/平成28年10月 ●入所定員/100名 ●通所定員/30名

34
社会医療法人 駿甲会
コミュニティケア大井川

☎054-625-8560
📠054-625-8561

[所在地] 〒421-0216 静岡県焼津市相川577-1
●開設/平成30年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名

11
医療法人社団 聖穰会
グリーンヒルズ藤枝

☎054-639-1234
📠054-639-1255

[所在地] 〒426-0133 藤枝市宮原420-1
●開設/平成10年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/75名

12
医療法人社団 共生会
エコトープ

☎0547-45-0111
📠0547-45-0112

[所在地] 〒428-0007 島田市島534-1
●開設/平成10年10月 ●入所定員/150名 ●通所定員/40名

13
医療法人社団 健社会
アポロン

☎0547-34-2000
📠0547-34-2358

[所在地] 〒427-0047 島田市中清町1714-1
●開設/平成11年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/45名

14
医療法人社団 博恵会
アリス草薙

☎054-347-6511
📠054-347-6565

[所在地] 〒424-0886 静岡市清水区草薙424-7
●開設/平成11年11月 ●入所定員/100名 ●通所定員/105名

15
医療法人社団 秀慈会
萩の里

☎054-236-1155
📠054-236-1177

[所在地] 〒422-8018 静岡市駿河区西大谷12-5
●開設/平成12年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/85名

16
医療法人社団 あけぼの
はるかぜ

☎0548-52-7771
📠0548-52-7781

[所在地] 〒421-0514 牧之原市菅ヶ谷1240-1
●開設/平成12年3月 ●入所定員/80名 ●通所定員/40名

17
静岡県厚生農業協同組合連合会
きよみの里

☎054-369-7700
📠054-360-4100

[所在地] 〒424-0203 静岡市清水区興津東町1829
●開設/平成12年6月 ●入所定員/100名 ●通所定員/55名

18
医療法人社団 静寿会
葵の里

☎054-257-2281
📠054-268-5221

[所在地] 〒421-0135 静岡市駿河区小坂376-1
●開設/平成12年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

19
医療法人社団 松笑会
あみ

☎054-206-1777
📠054-206-1717

[所在地] 〒421-2109 静岡市葵区福田ヶ谷73-2
●開設/平成14年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/60名

20
社会医療法人 駿甲会
コミュニティケア吉田

☎0548-34-5577
📠0548-34-5578

[所在地] 〒421-0302 榛原郡吉田町川尻1700-1
●開設/平成15年3月 ●入所定員/100名 ●通所定員/50名

21
医療法人社団平成会
マインド

☎054-643-3601
📠054-643-3602

[所在地] 〒426-0075 藤枝市瀬戸新屋487-2
●開設/平成15年11月 ●入所定員/150名 ●通所定員/40名

22
医療法人社団凜和会
フォレストア藤枝

☎054-647-3833
📠054-647-3831

[所在地] 〒426-0033 藤枝市小石川町2-8-13
●開設/平成15年4月 ●入所定員/100名 ●通所定員/53名

6
医療法人社団 宏整会
サンライズ大浜

☎054-282-2839
📠054-281-8245

[所在地] 〒422-8045 静岡市駿河区西島528
●開設/平成8年5月 ●入所定員/121名 ●通所定員/20名

7
社会福祉法人 楽寿会
楽寿

☎054-296-1112
📠054-296-1313

[所在地] 〒421-2115 静岡市葵区与左衛門新田98-11
●開設/平成8年10月 ●入所定員/100名 ●通所定員/40名

8
医療法人社団 博慈会
こみに

☎054-209-7000
📠054-209-7007

[所在地] 〒420-0963 静岡市葵区赤松8-16
●開設/平成9年4月 ●入所定員/186名 ●通所定員/75名

9
医療法人社団 正心会
ケアセンターゆうゆう

☎054-625-0321
📠054-625-0322

[所在地] 〒426-0052 焼津市田尻4
●開設/平成9年4月 ●入所定員/97名 ●通所定員/100名

10
医療法人社団 平成会
カリタス・メンテ

☎054-643-1266
📠054-643-1289

[所在地] 〒426-8662 藤枝市水上123-1
●開設/平成9年5月 ●入所定員/50名 ●通所定員/20名

1
医療法人社団 恒仁会
ケアセンター瀬名

☎054-264-2221
📠054-264-8100

[所在地] 〒420-0903 静岡市葵区長尾39-5
●開設/平成元年6月 ●入所定員/200名 ●通所定員/70名

2
医療法人社団 清仁会
あかつきの園

☎054-334-5533
📠054-334-1121

[所在地] 〒424-0917 静岡市清水区駒越2883-1
●開設/平成3年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/10名

3
医療法人社団 清秀会
ケア・センター ひまわり

☎054-336-3033
📠054-336-3035

[所在地] 〒424-0934 静岡市清水区村松原1-2-34
●開設/平成5年9月 ●入所定員/100名 ●通所定員/20名

4
医療法人社団 綾和会
焼津ケアセンター

☎054-623-8111
📠054-623-8116

[所在地] 〒425-0062 焼津市中根新田1315
●開設/平成7年3月 ●入所定員/150名 ●通所定員/63名

5
社会医療法人 駿甲会
コミュニティケア高草

☎054-627-5588
📠054-627-9988

[所在地] 〒425-0005 焼津市方ノ上358-1
●開設/平成8年4月 ●入所定員/84名 ●通所定員/115名



29

医療法人社団 藤友五幸会
五洋の里

☎0538-67-1755 📠0538-67-1756

[所在地] 〒438-0234 磐田市掛塚3190-1

●開設／平成18年7月 ●入所定員／90名 ●通所定員／40名

30

医療法人社団 拓己会
長鶴の郷

☎053-423-2700 📠053-423-2711

[所在地] 〒435-0031 浜松市東区長鶴町290

●開設／平成19年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／45名

31

医療法人社団 敬徳会
あらたま

☎053-582-3211 📠053-582-3333

[所在地] 〒434-0004 浜松市浜北区宮口3152

●開設／平成18年9月 ●入所定員／80名 ●通所定員／20名

32

医療法人社団 恵成会
えいせい掛川介護老人保健施設

☎0537-20-1611 📠0537-29-1116

[所在地] 〒436-0342 掛川市上西郷8021

●開設／平成19年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

33

医療法人社団 早友会
クロヤナギ介護老人保健施設

☎053-524-1000 📠053-524-1152

[所在地] 〒431-1404 浜松市北区三ヶ日町宇志34-1

●開設／平成21年8月 ●入所定員／19名 ●通所定員／40名

34

医療法人社団 白梅会
白梅県居ケアホーム

☎053-458-2100 📠053-458-2101

[所在地] 〒432-8036 浜松市中区東伊場2-14-35

●開設／平成24年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

35

医療法人社団 光久会
はるのケアセンター

☎053-989-1500 📠053-989-1502

[所在地] 〒437-0605 浜松市天竜区春野町気田776-5

●開設／平成24年4月 ●入所定員／60名 ●通所定員／30名

36

医療法人社団 あずま会
平安の森

☎053-476-1156 📠053-401-0011

[所在地] 〒430-0918 浜松市中区八幡町181

●開設／平成24年11月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

37

医療法人社団 和恵会
みずほケアセンター

☎053-414-2220 📠053-414-2225

[所在地] 〒433-8118 浜松市中区高丘西2-32-36

●開設／平成25年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名

38

医療法人社団 友成医院
介護老人保健施設 きらりの森

☎053-589-3331 📠053-589-3332

[所在地] 〒434-0046 浜松市浜北区染地台3-29-20

●開設／平成26年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

39

医療法人社団 心
介護老人保健施設 坂の上うげん曳馬野

☎053-416-2015 📠053-416-2025

[所在地] 〒433-8123 浜松市中区幸4丁目36-3

●開設／平成27年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／30名

40

医療法人社団 続和会
介護老人保健施設 桔梗の丘

☎0537-23-7110 📠0537-23-7116

[所在地] 〒436-0030 掛川市杉谷南1丁目1-1

●開設／平成27年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

17

医療法人 浜名会
まんさくの里

☎053-572-3911 📠053-572-3939

[所在地] 〒431-0422 湖西市岡崎1353-1

●開設／平成13年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

18

御前崎市
はまおか

☎0537-86-8822 📠0537-85-7436

[所在地] 〒437-1688 御前崎市池新田2070

●開設／平成13年5月 ●入所定員／50名 ●通所定員／45名

19

医療法人社団 藤花会
花平ケアセンター

☎053-542-4187 📠053-542-4087

[所在地] 〒431-2211 浜松市北区引佐町花平708

●開設／平成14年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

20

医療法人社団 和恵会
白脇ケアセンター

☎053-444-3131 📠053-444-3132

[所在地] 〒430-0846 浜松市南区白羽町1424

●開設／平成14年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／70名

21

医療法人社団 東医会
みかたはら介護老人保健施設

☎053-438-5886 📠053-438-5887

[所在地] 〒433-8105 浜松市北区三方原町675-6

●開設／平成19年2月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

22

医療法人社団 山川会
ケアセンター芳川

☎053-426-0003 📠053-426-0004

[所在地] 〒430-0838 浜松市南区東野町24

●開設／平成15年10月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

23

医療法人社団 緑生会
天王介護老人保健施設

☎053-423-1070 📠053-423-1072

[所在地] 〒435-0051 浜松市東区市野町2495

●開設／平成15年8月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

24

医療法人社団 あおば会
あおばケアガーデン

☎0537-48-0002 📠0537-48-0024

[所在地] 〒437-1302 掛川市大淵4345

●開設／平成16年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

25

医療法人社団 緑風会
風の杜

☎0538-85-1121 📠0538-85-1171

[所在地] 〒437-0214 周智郡森町草ヶ谷104-1

●開設／平成17年4月 ●入所定員／80名 ●通所定員／30名

26

医療法人社団 晴和会
さわだの庄

☎0537-35-8889 📠0537-35-8880

[所在地] 〒439-0037 菊川市西方5511

●開設／平成17年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／70名

27

医療法人社団 白梅会
白梅豊岡ケアホーム

☎0539-62-1601 📠0539-62-1606

[所在地] 〒438-0126 磐田市下神増183-1

●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

28

医療法人社団 紅紫会
ナーシングホームオンフルール

☎0538-45-0080 📠0538-45-0081

[所在地] 〒437-0023 袋井市高尾1439-3

●開設／平成18年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

9

医療法人社団 和恵会
入野ケアセンター

☎053-440-1200 📠053-440-1201

[所在地] 〒432-8061 浜松市西区入野町6417

●開設／平成7年10月 ●入所定員／150名 ●通所定員／80名

10

医療法人社団 木野記念会
於保老健センター

☎0538-58-2550 📠0538-58-2552

[所在地] 〒431-1216 磐田市一色26

●開設／平成8年4月 ●入所定員／80名 ●通所定員／20名

11

医療法人社団 川口会
エバーグリーン掛川

☎0537-21-0550 📠0537-21-0551

[所在地] 〒437-0043 掛川市大池680

●開設／平成8年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

12

社会福祉法人 天竜厚生会
さいわい

☎053-583-1156 📠053-583-1258

[所在地] 〒431-3492 浜松市天竜区渡ヶ島221

●開設／平成9年6月 ●入所定員／127名 ●通所定員／55名

13

医療法人社団 藤友五幸会
おおふじ五幸ホーム

☎0538-38-5511 📠0538-38-5656

[所在地] 〒438-0002 磐田市大久保508-3

●開設／平成10年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／60名

14

医療法人社団 愛慈会
さくらの苑

☎0538-33-3800 📠0538-33-3802

[所在地] 〒438-0074 磐田市二之宮字仙水1162

●開設／平成10年5月 ●入所定員／100名 ●通所定員／39名

15

医療法人社団 学修会
神子の園

☎0537-20-0080 📠0537-20-0081

[所在地] 〒436-0084 掛川市逆川100

●開設／平成11年4月 ●入所定員／100名 ●通所定員／40名

16

医療法人社団 清冷会
袋井ケアセンター

☎0538-49-4911 📠0538-49-4912

[所在地] 〒437-0003 袋井市萱南933-1

●開設／平成11年7月 ●入所定員／100名 ●通所定員／20名

28 | 老健 しずおか

老健 しずおか | 27

第34回 全国介護老人保健施設大会 宮城

地域共生社会の復権と老健

～デジタル化時代の絆～

2023年
11月21日(火)・22日(水)

会場 仙台国際センター

大会
会長 小林 誠一
公益社団法人全国老人保健施設協会
宮城県支部長

大会ホームページ



大会の詳しい情報は、こちらからご確認ください
<https://www.roken2023-miyagi.jp/>

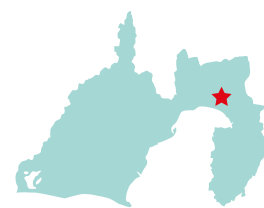
第19回 東海・北陸ブロック老健大会 富山

2025年に
延期

来年は「第35回全国介護老人保健施設大会」が岐阜で行われるため、
「第19回東海・北陸ブロック老健大会 富山」は2025年に延期となりました。



表紙写真「大洞壺場」



老健 しずおか

静岡県老人保健施設協会機関誌
第27号

INDEX

ご挨拶	静岡県老人保健施設協会 会長 小出 幸夫	1
ご挨拶	静岡県健康福祉部福祉長寿局 福祉指導課長 小池 美也子	2

TOPIC 1	第33回 全国介護老人保健施設大会 兵庫	3
TOPIC 2	第17回 東海北陸ブロック老健大会 石川	5

特集 第18回東海・北陸ブロック …… 7 老健大会 静岡

研修会	外国人材活用セミナー	11
	高齢者施設における新型コロナウイルス感染症クラスター発生	11
	高齢者のリスクマネジメント	13
	人材育成セミナー 介護リーダーのためのスタッフ育成	14

部会報告	リハビリテーション部会	15
	防災部会	17
	看護・介護部会	19

事業報告	令和4年度	21
年間計画	令和5年度	22

会員施設 紹介	●東部地区	23
	●中部地区	25
	●西部地区	27

介護老人保健施設の 理念と役割

〔理念〕

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。
また、家族や地域の人びと・期間と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

〔5つの役割と機能〕

I 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。
そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

II リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

III 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、他職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

IV 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

V 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。
市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。
また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。

静岡県老人保健施設協会

西山ウエルケア 内

〒432-8001 静岡県浜松市西区西山町411-2

TEL.053-485-5500 FAX.053-485-6130

www.rouken-shizuoka.jp

